

魔女狩り

虐待奴隷編



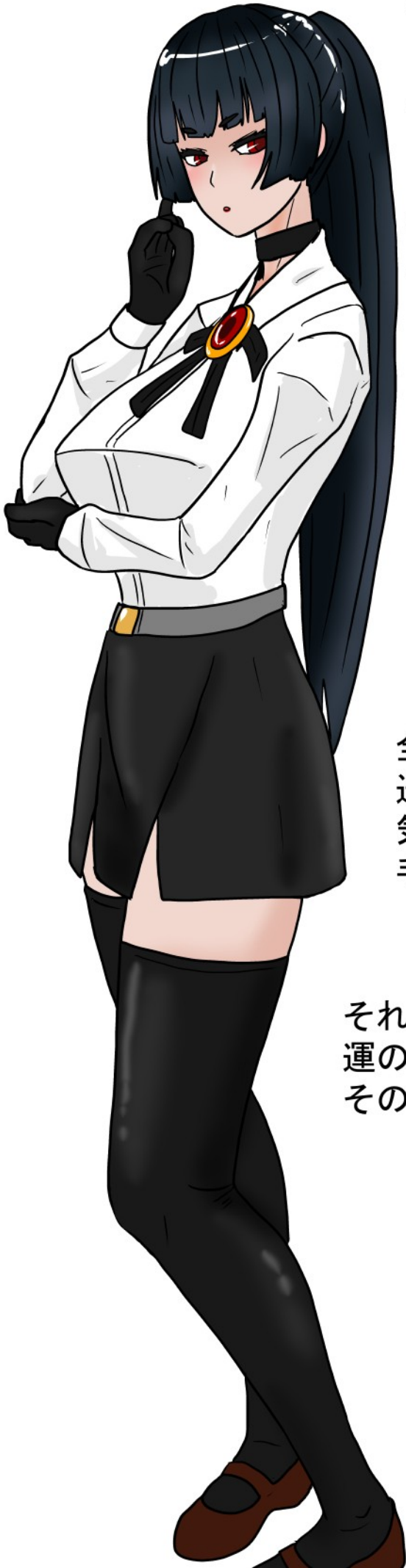
これまでのあらすじ

魔族が人類の領域へ侵攻を開始した時代…
冒険者ギルドのギルマスを務めていた魔女
「ハルナ・ゲートルード」は、冒険者ギルドが
壊滅した後も、
魔導帝国への抵抗を続けていた。

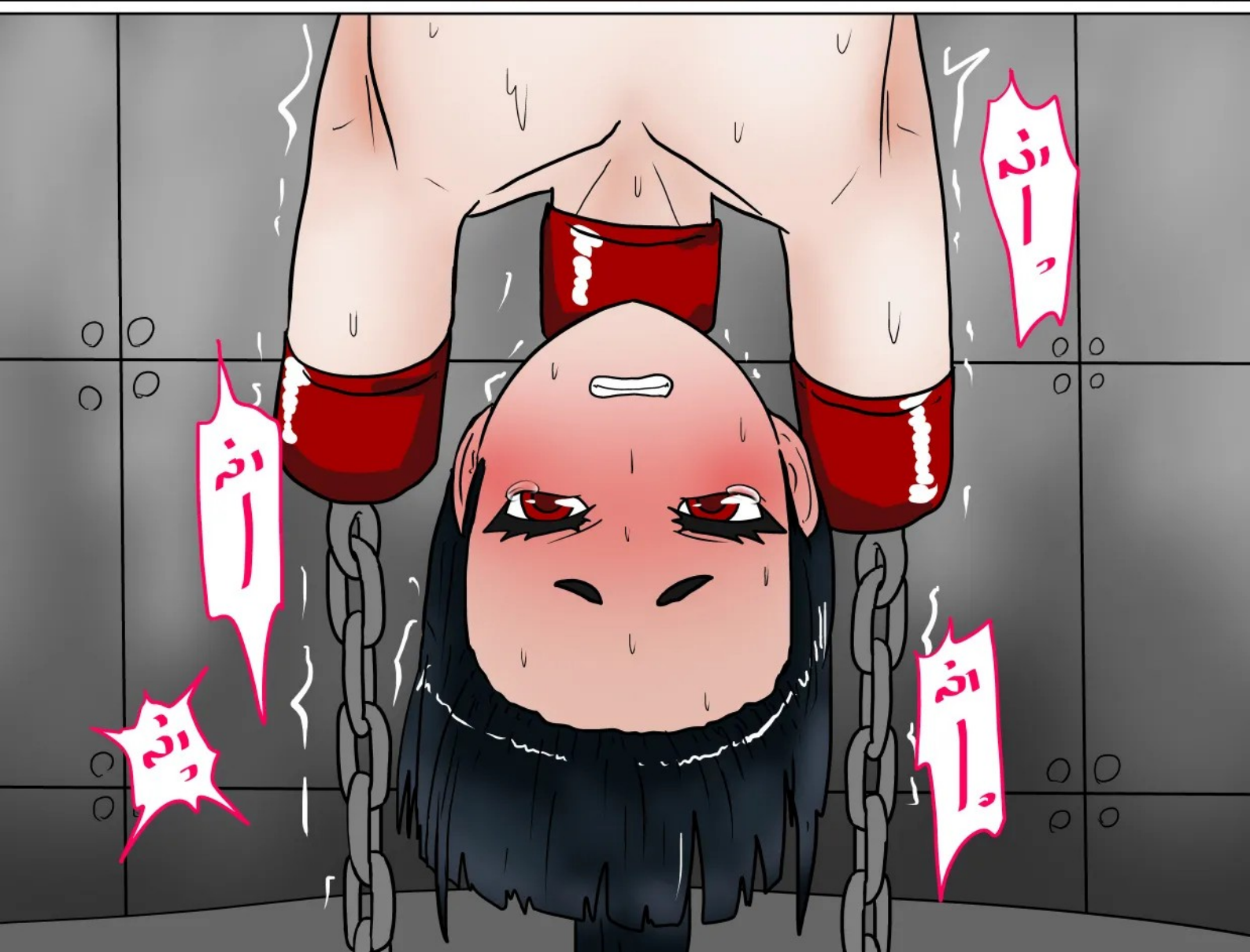
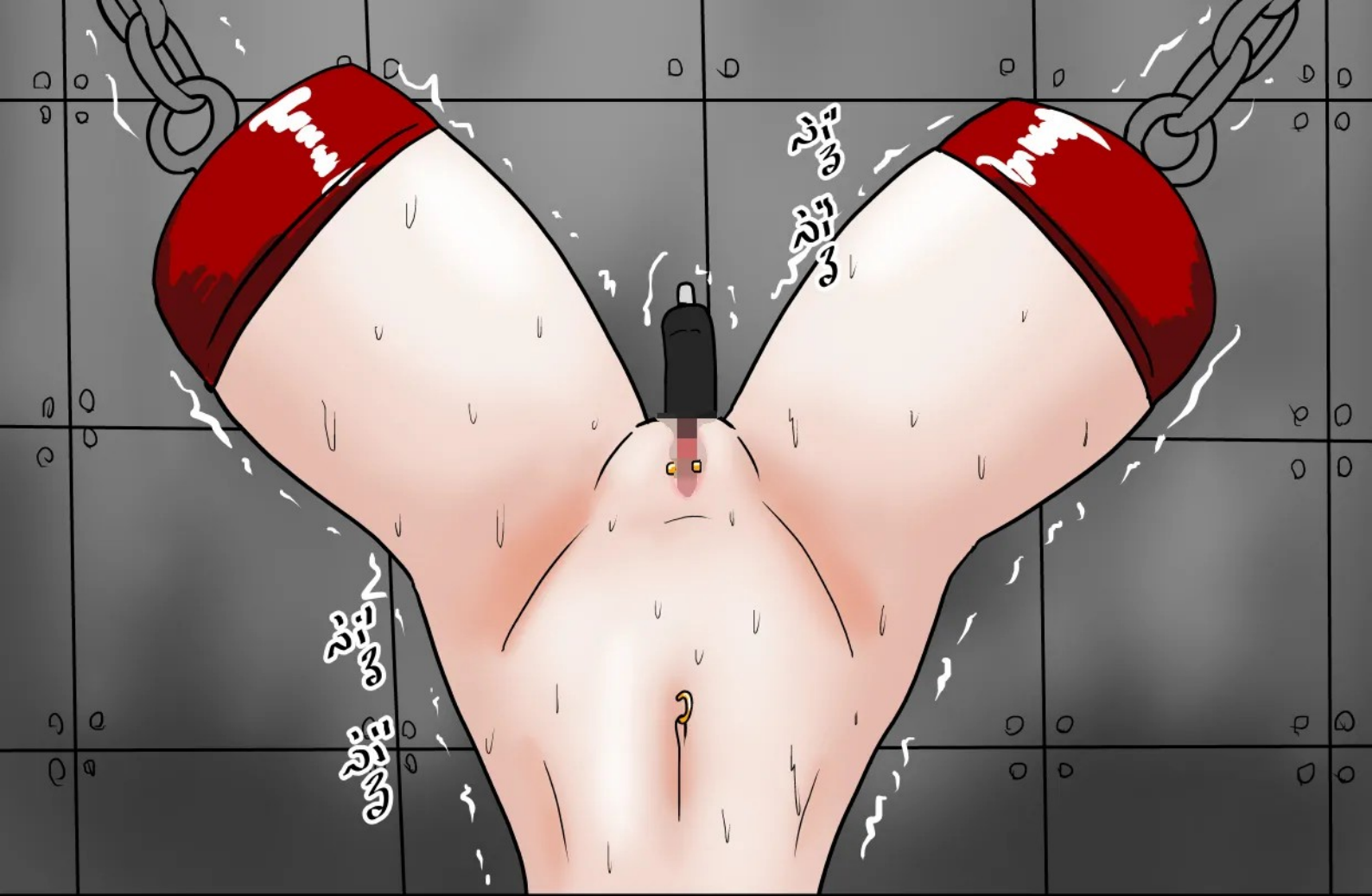
しかし抵抗むなしく魔導帝国の治安部隊に
捕縛され、厳しい尋問と拷問を受ける。
四肢を落とされ、体中を改造され、
ついには奴隷娼婦の身分に落とされて、
凌辱と虐待の日々を送ることになった。

全てをあきらめ、愛玩人形としての生活を
送る中、寝室の窓の鍵が開いていることに
気付いた彼女は、思わず窓辺に近づき窓枠に
手をかける…

それは決して逃亡を試みたわけではなかったが、
運の悪いことに、
その行動は全て主人に見られていたのだった…







僕、ハルナちゃんのこと
すっごく可愛がってあげたよね？

なんで
逃げようとしたの？

は、

は、

は、

はあ

逃げようと、
していません。

はあ





62

66

63

67

64

68

65

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

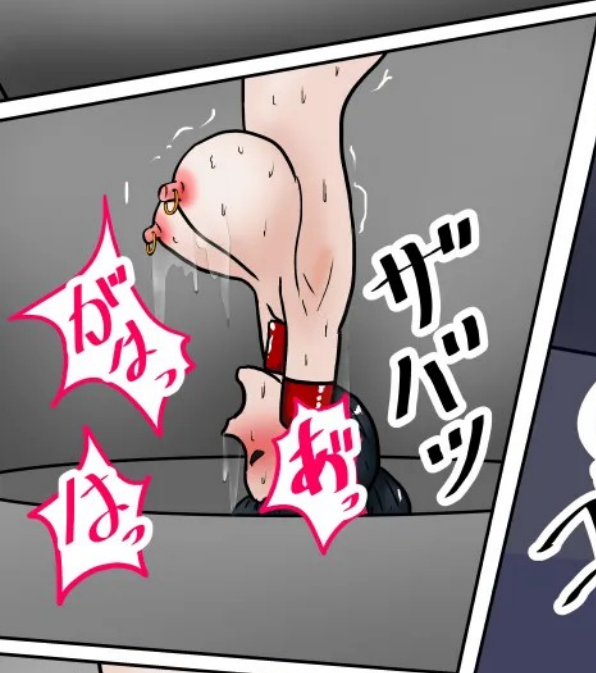


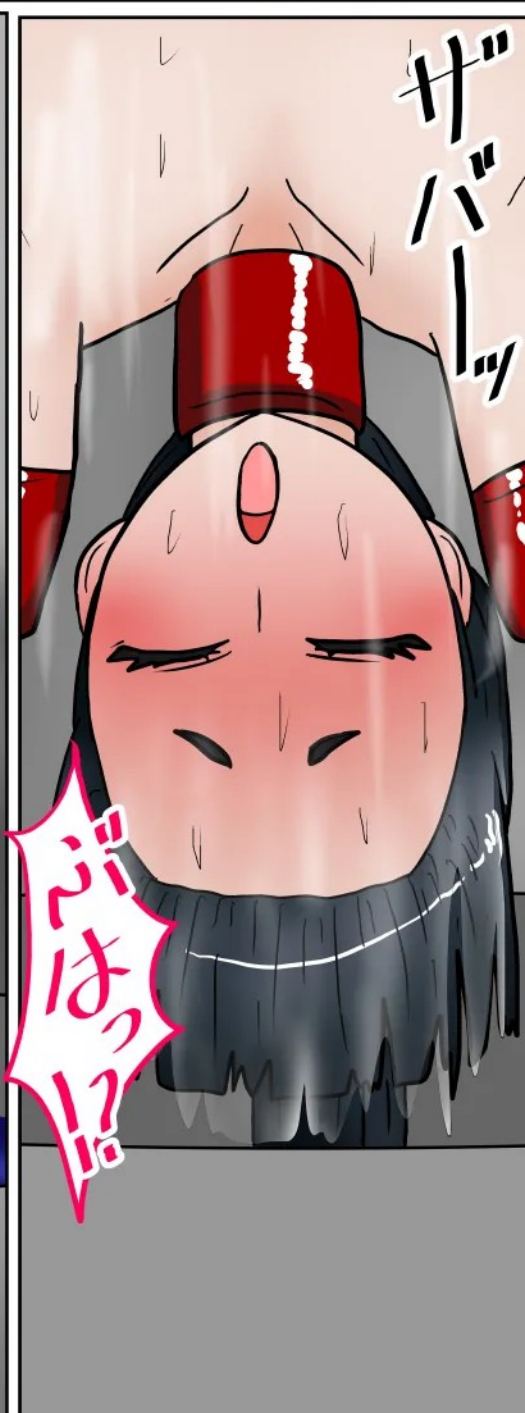
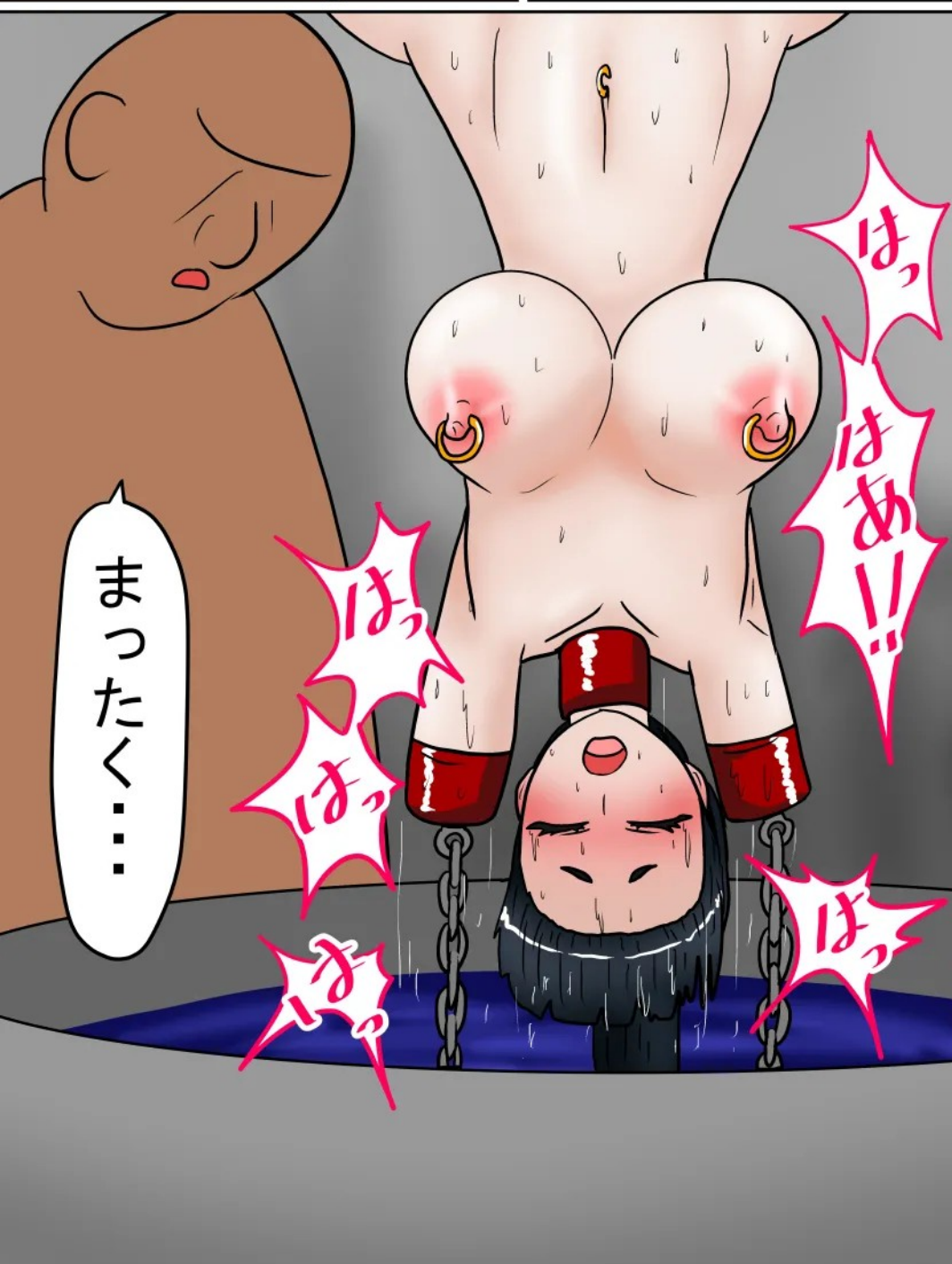
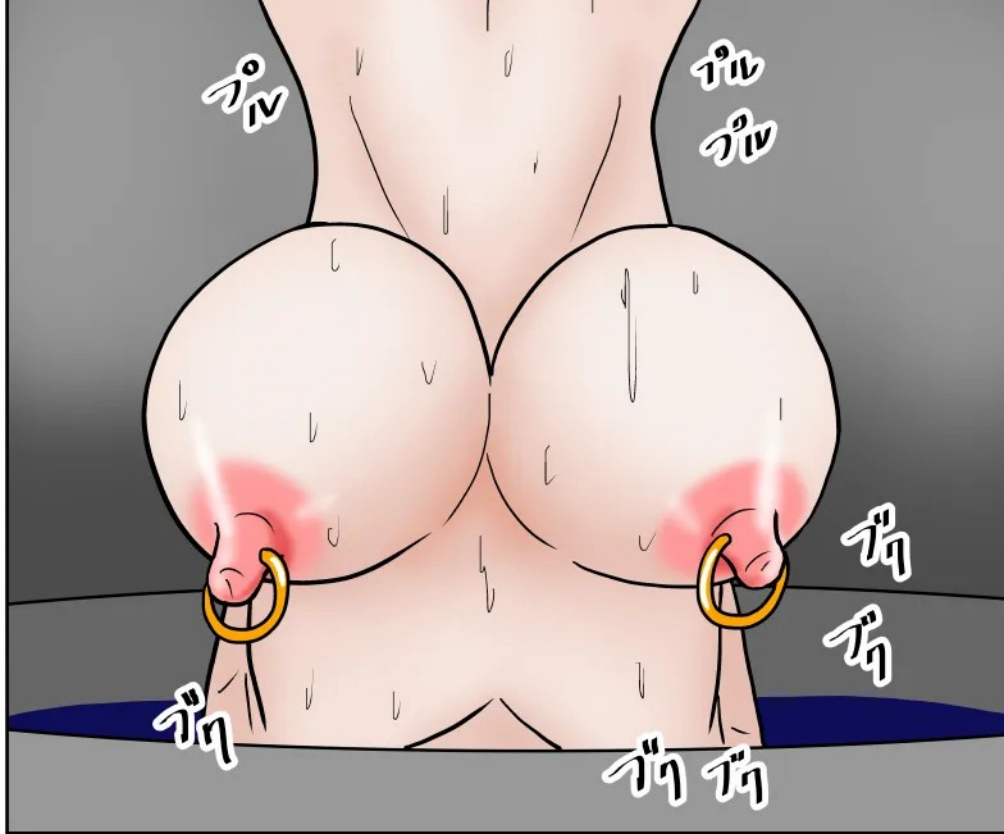
97

98

99

100!





強情だなあ…

は、

は、

はあ

はあ

は、

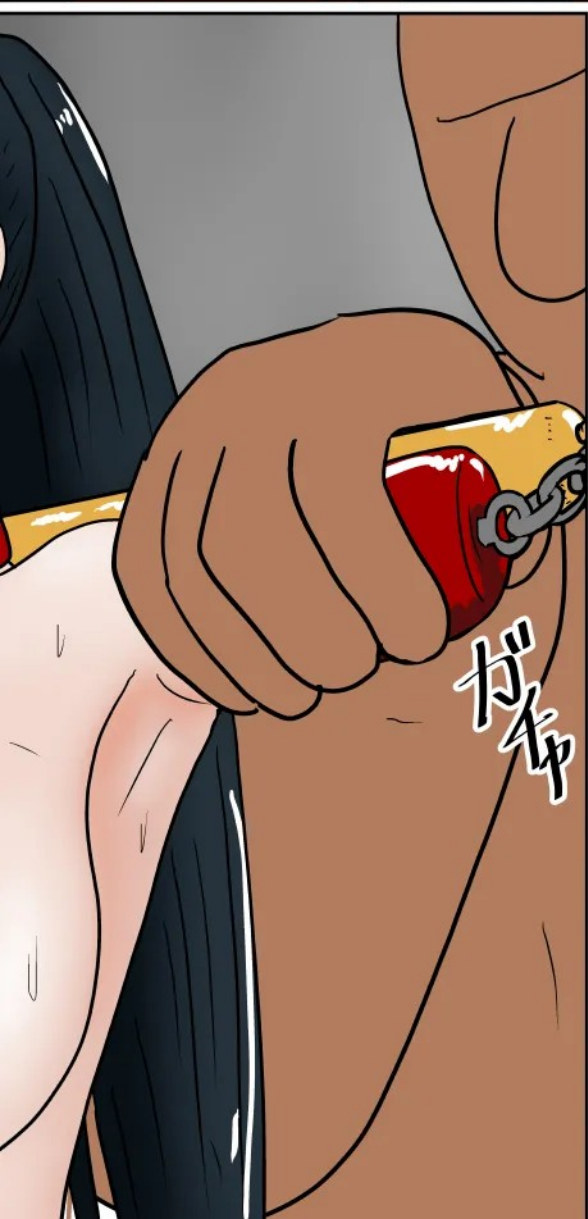
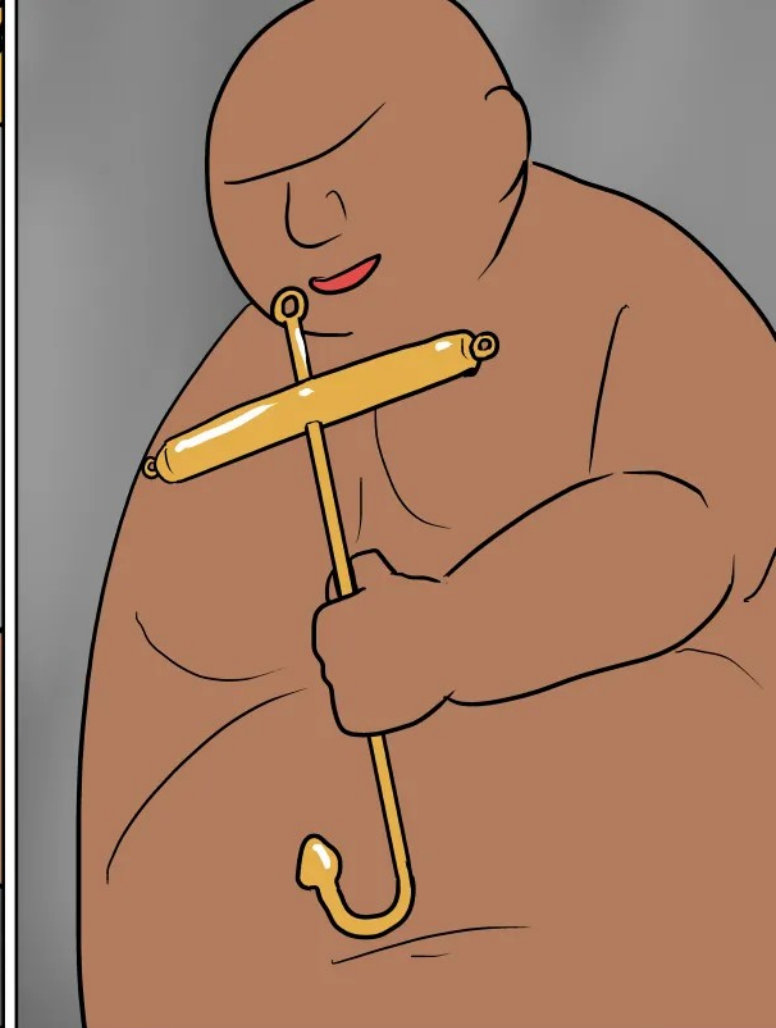
はあ、

はあ、

は、

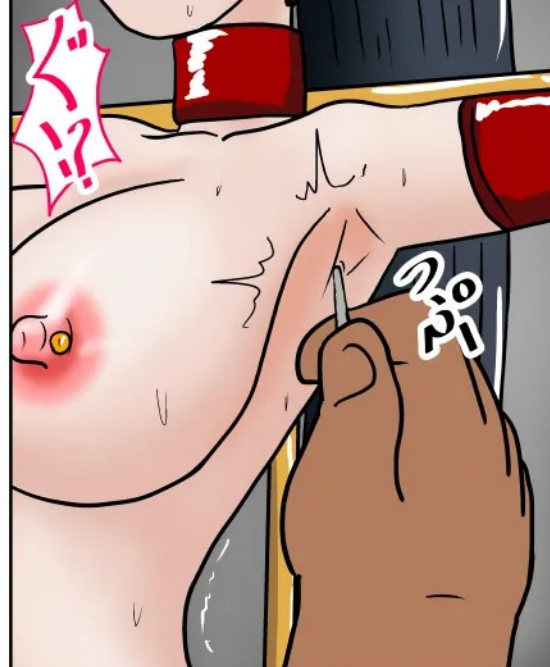
はあ、







嘘をつくってことはさ、
僕を裏切ってるという
ことなんだ。



今もまだずっと
裏切り続けてるんだ。



本当のこと言って謝れば
僕は許してあげるよ？

逃げようとしていません！



うそじゃないです！

は、

はあ、

はっ





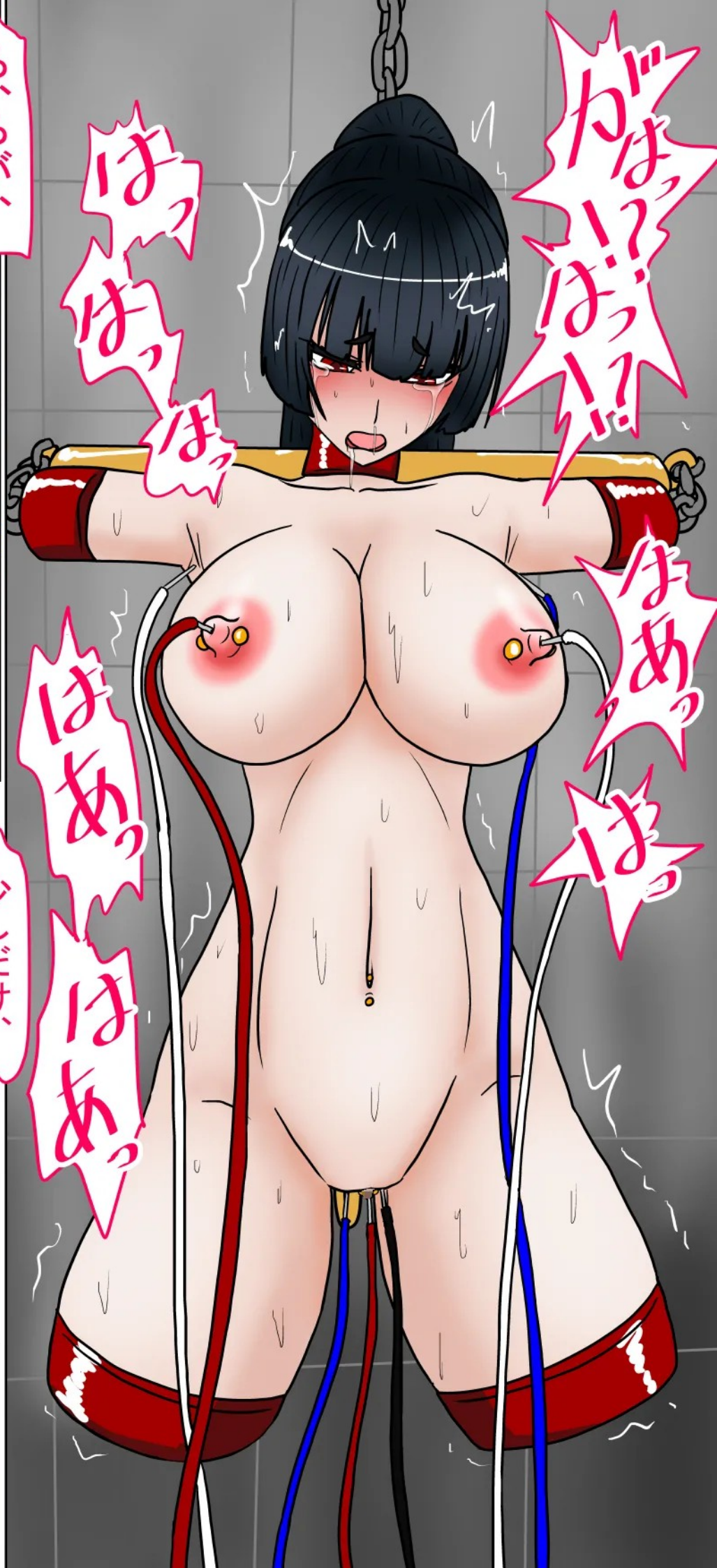


外の空気
吸いたいってさあ！

それって
外に行きたいって
ことだよねえ！

逃げたいってことだよねえ！







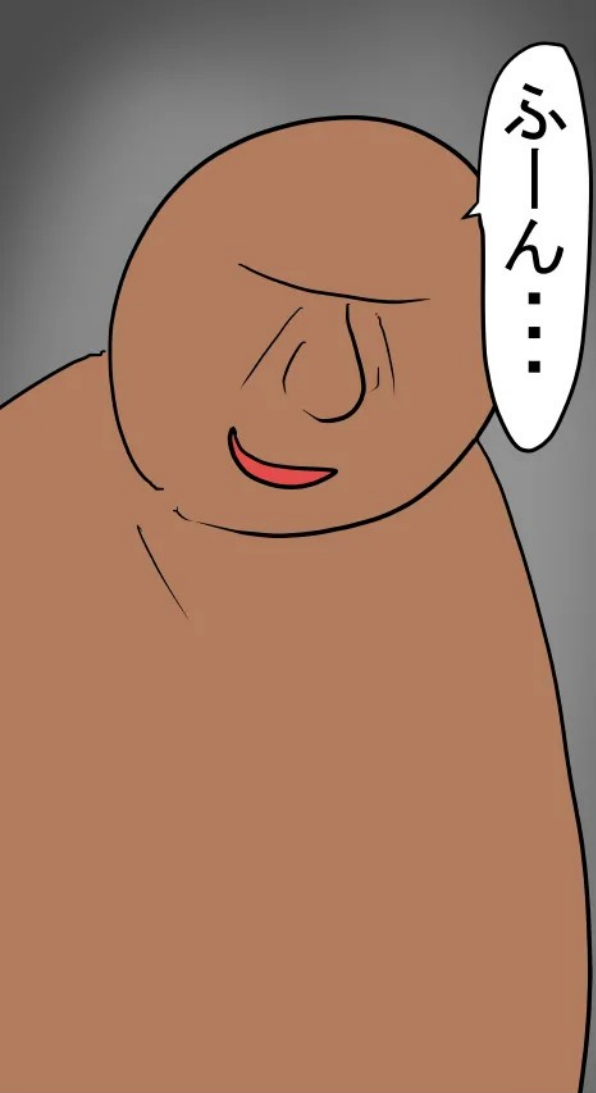














にへら...



はい...

はあ

はあ

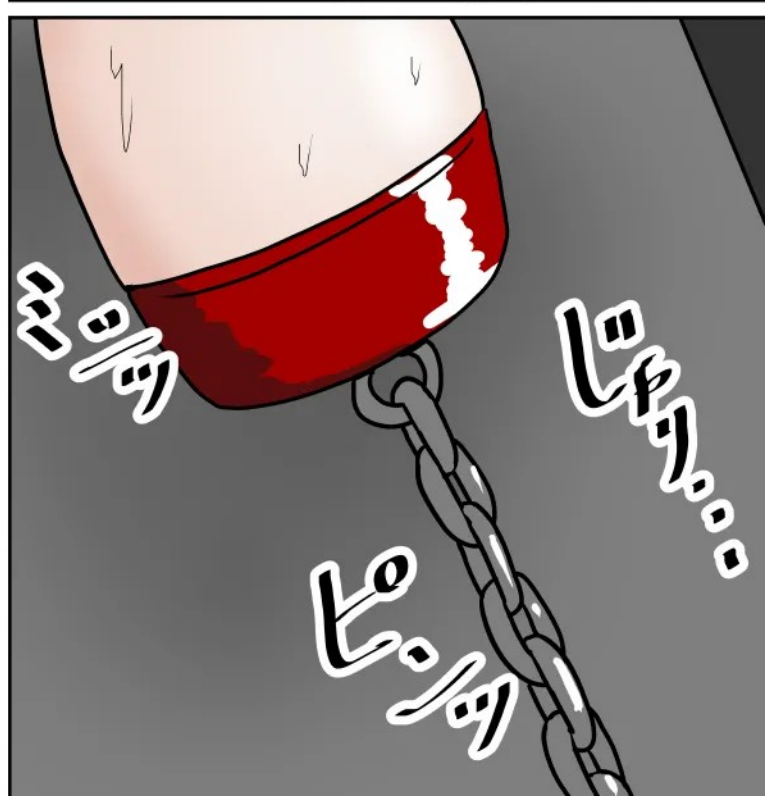
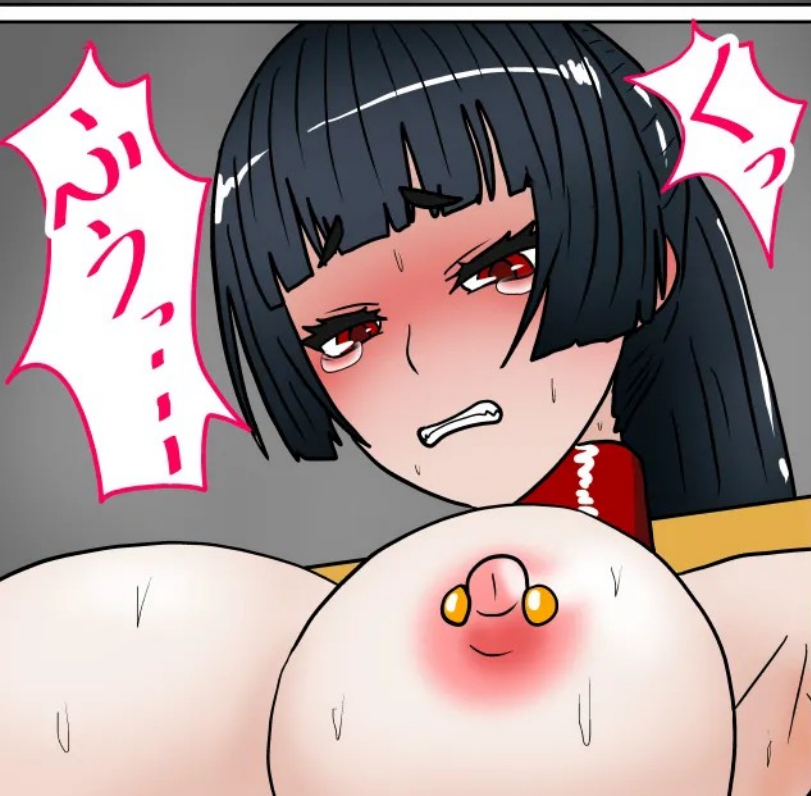
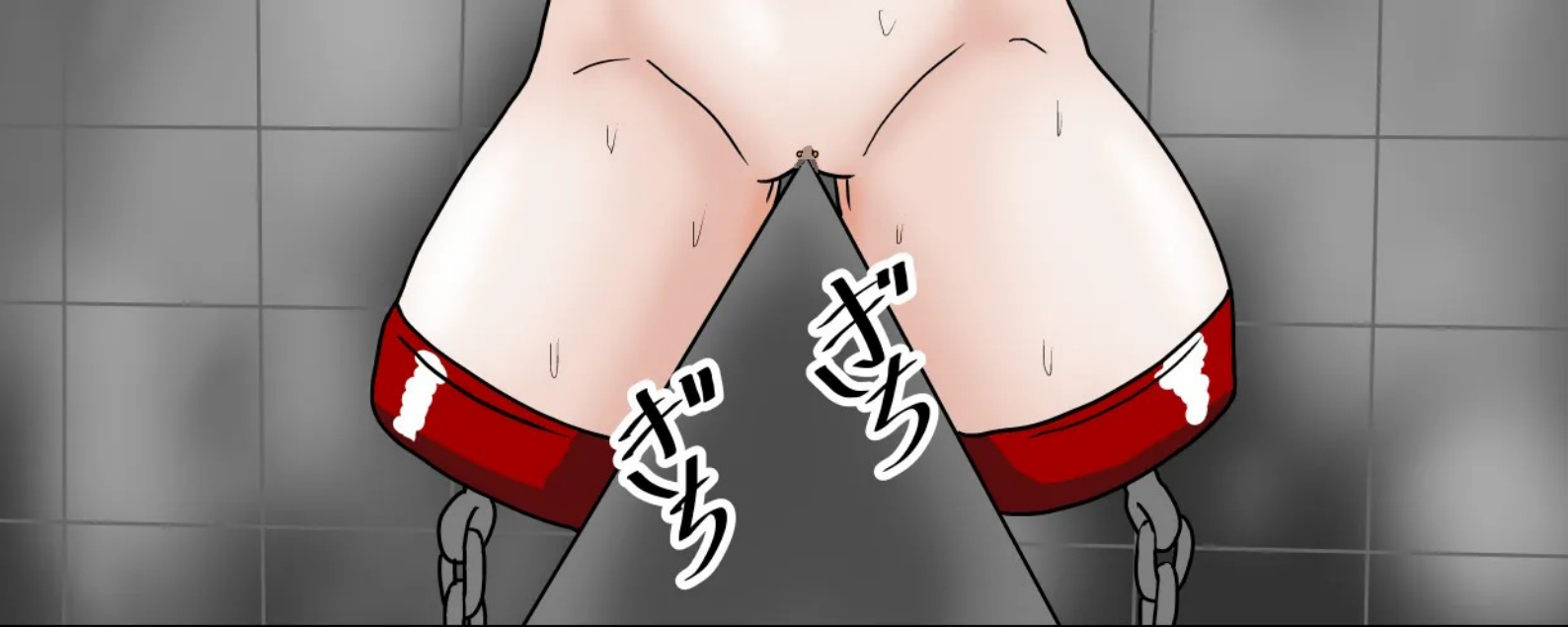
私は、ご主人様に、
舐めていただいて喜ぶ、

ド変態の、
メス豚です。

はあ

ふーん...

じゃあ試してやる





こんなことされても
僕のこと愛してる？

あーん 怒ってます!!

あーん 怒ってます!!

ふーん

ぐわん

ざん

ざん

[illegible]

ばし

パワ



如

ぼい
ぼい

おいどうした！
ほんとに愛してるのか？！

もつと大きな声で！
言ってみろ！

4人います！！

あゝあゝ



グ
ン
ッ
ッ

じゃあこういうのは
どうかな？

なかなか頑張るじゃん。

ふ
ッ

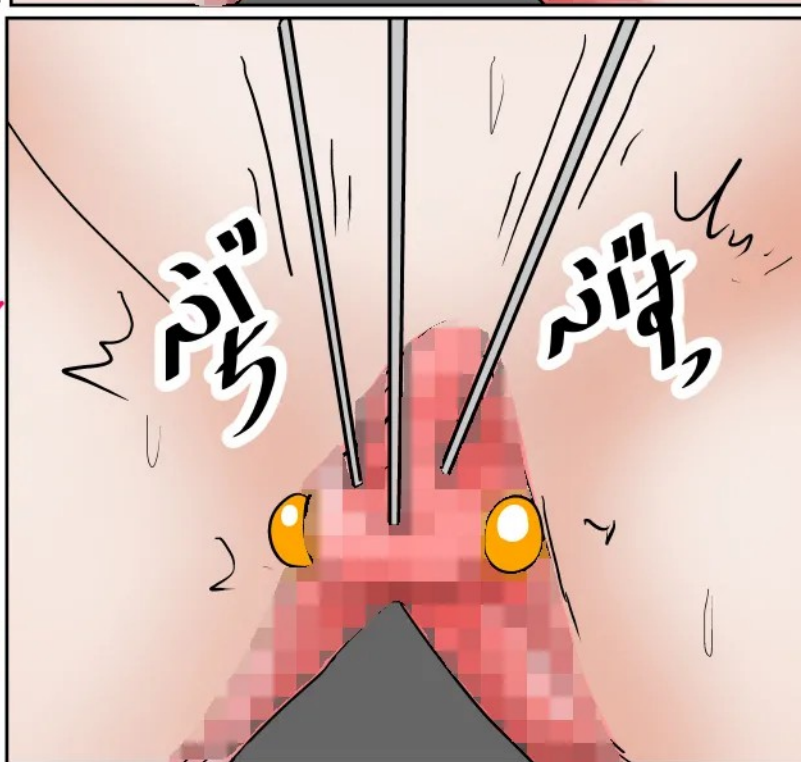
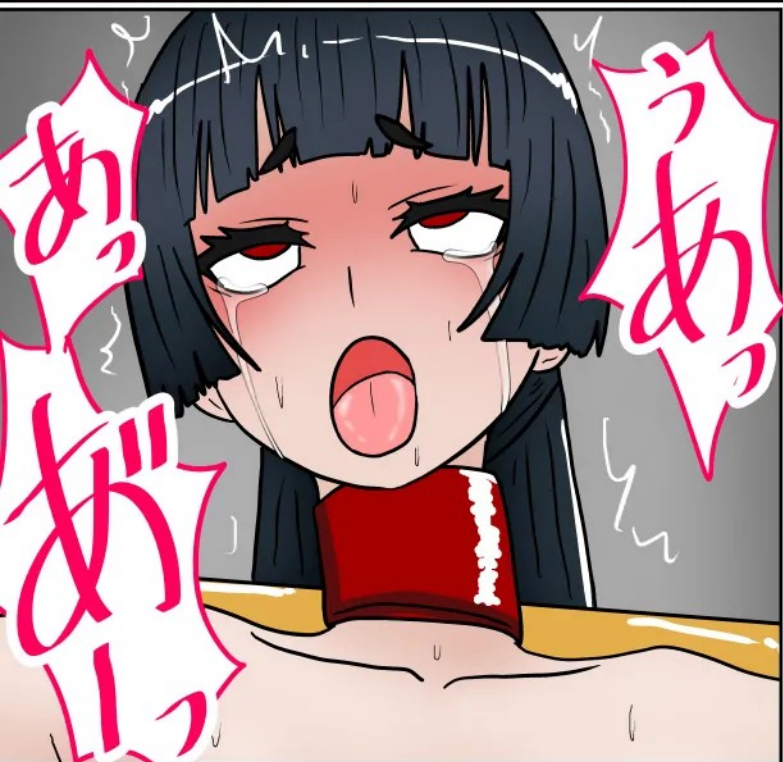
ふ
ッ

く
ッ

ツ
ッ
ッ
...

こんなのはどうか？
 こんなにされても
 愛してるって言える？

[illegible]



ほら、呻いてばっかじゃ
何にも伝わらないよ？

僕に何か
伝えたいんじゃないの？

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

びく

びく

びく





これでも愛してるか!?

あ!?

あ、あいして!

あゝあゝ

愛しています!

愛しています!

これでもか!

これでもか!

ボグッ

ドボッ

愛しています!

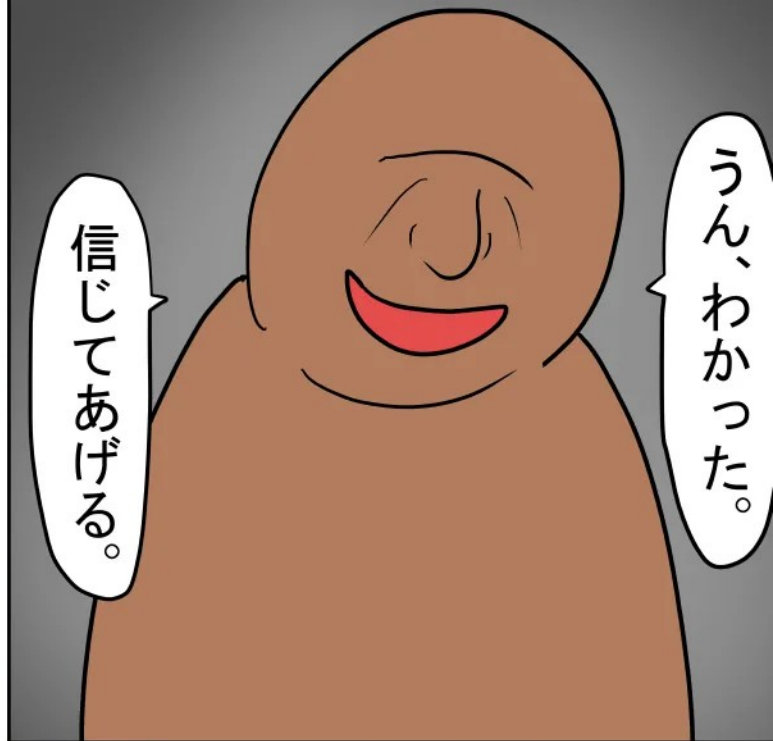
あゝあゝ





ハルナちゃんは
僕のかわいい
メス豚ちゃんだよな。

ポッ



信じてあげる。

うん、わかった。



はぁ

はい

はぁ

はぁ

はぁ

よし、僕のかわいいハルナちゃんをいろんな人にお披露目しないかね

……え？

こんどさあ、ハルナちゃんがギルマスやってた国……

ローグレン王国の人たち集めて乱交パーティーやろうと思うんだ。

きっとハルナちゃんを知り合いもいっぱい来るよ。

あ……

その人たちの前で、今みたいなメス豚宣言してもらおうかな！

あ、元冒険者の人たちも呼ぼうか？

ハルナちゃんってみんなに人気あったんでしょ？

憧れの人や他人の性奴隷になると知ったら、みんな悔しがるかな？

あ……
あは……

でもあれだよ、
ローグルの冒険者って
かなりの人数が
魔導帝国との戦いで
死んだんだよな？

一生懸命戦った人たちが、
メス豚になって
敵国で媚び売ってる
ハルナちゃんを見たら
どう思うかなあ...

こりゃあお墓参り
しないとだめだね！

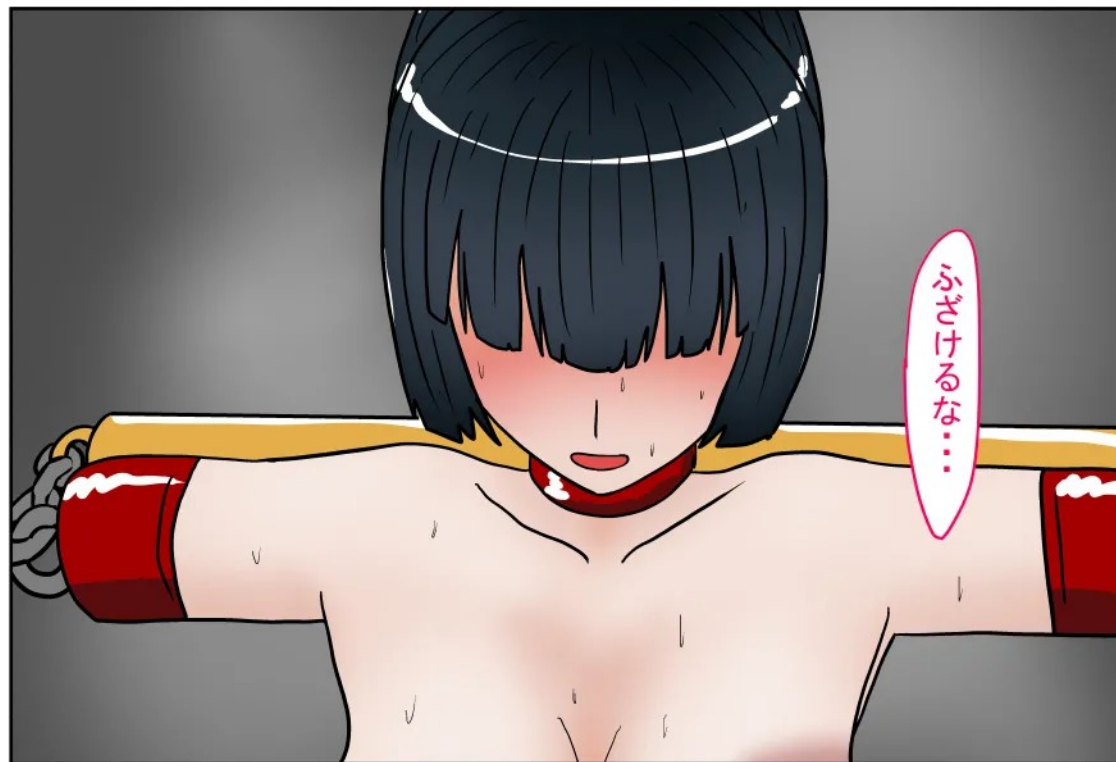
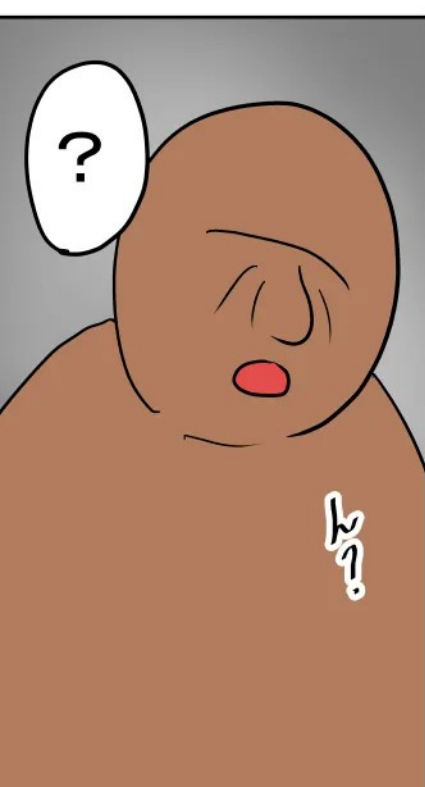
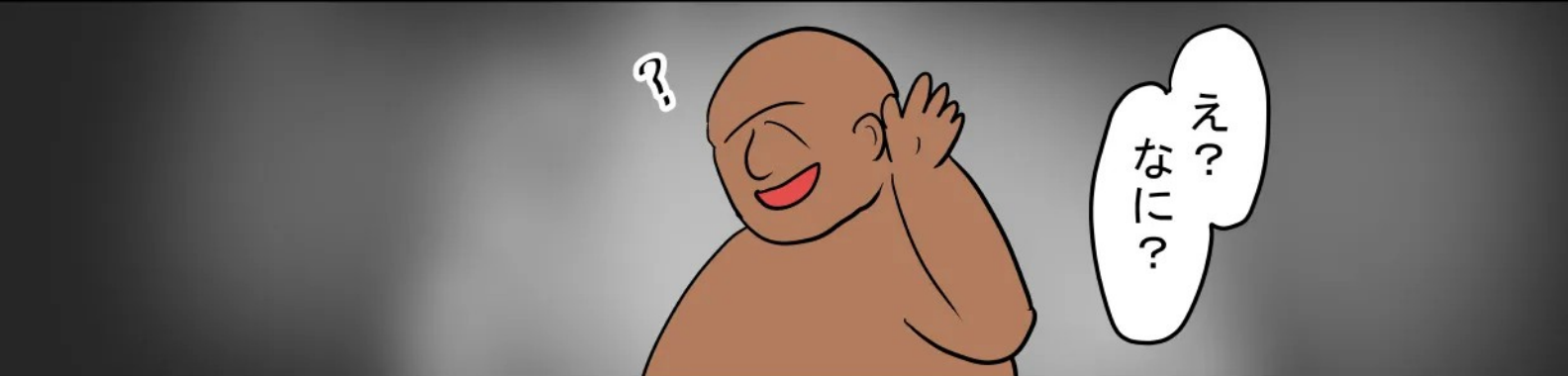
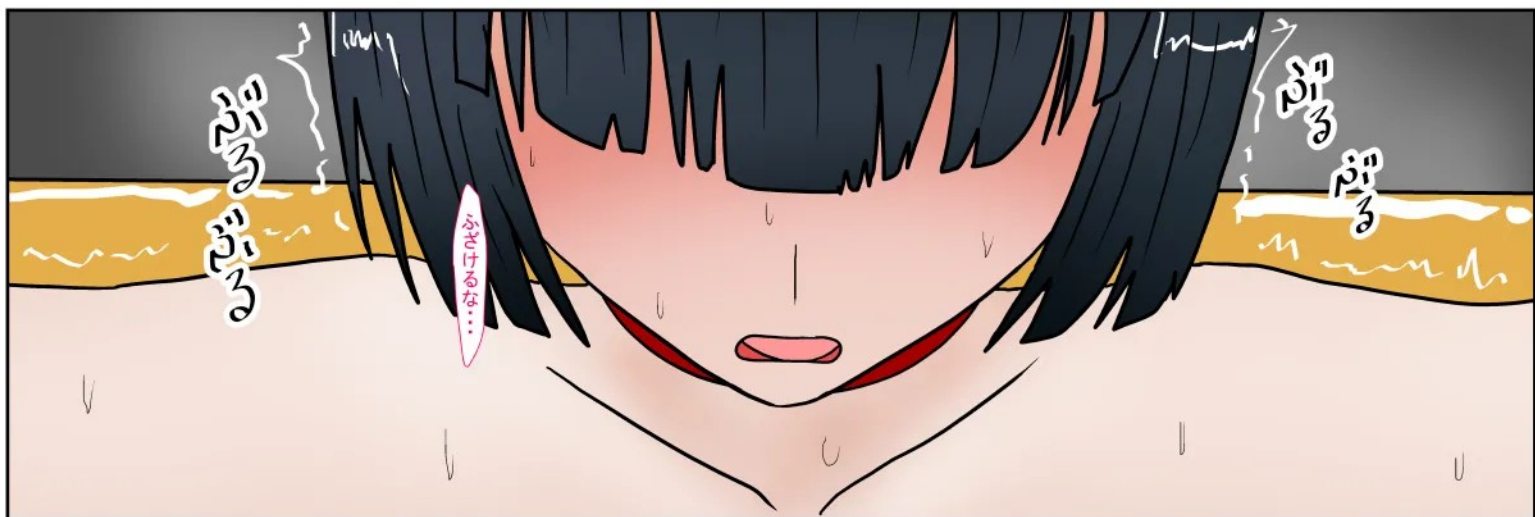
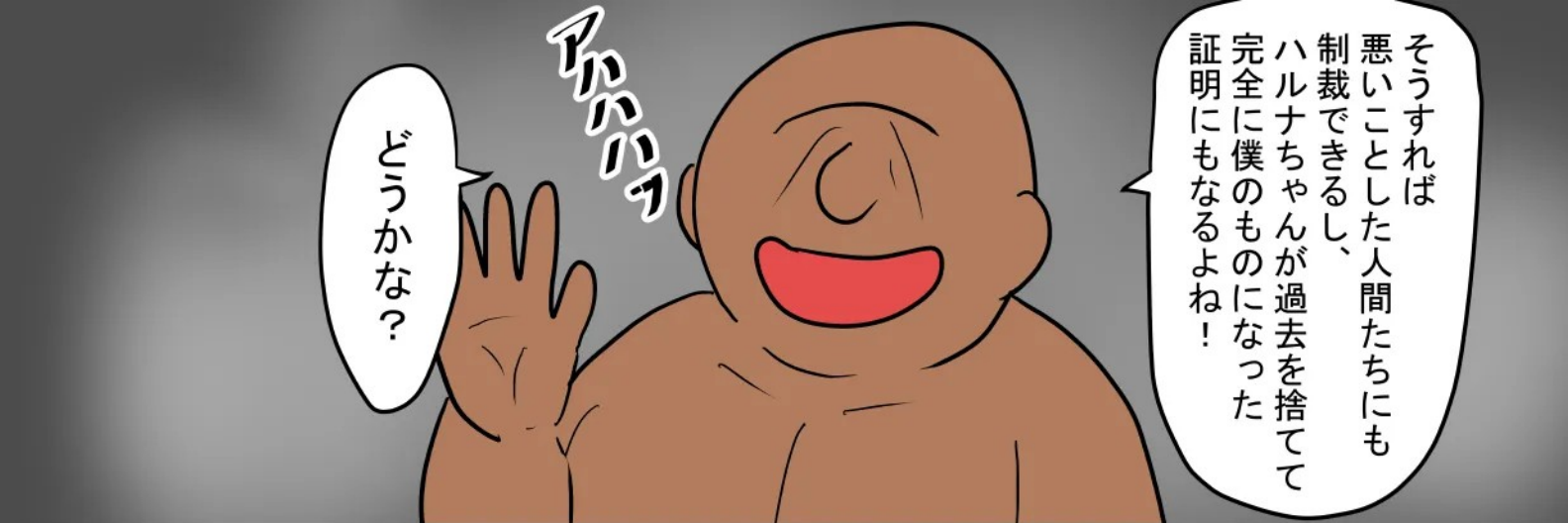
戦死者の共同墓地に行つて、
ごめんなさいしなきゃ
いけないよね！

あーでも、
あいつら魔族を迫害してた
差別主義者だしなあ...

敬意を払う
相手でもないかあ...

そうだ！
ハルナちゃんには犬のポーズで
お墓にしよんべんかけてもらおうかな！

お墓の上に乗って
大きな声でメス豚宣言
してもらおう！



ふざけるな！

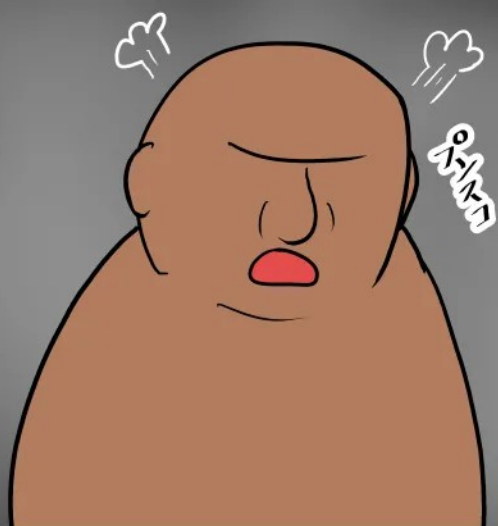
そんな、
死者を辱めるような真似が
出来るか！



えー？
なんで？

ハルナちゃんは僕の奴隷で、
僕のことを愛していて、
僕以外のことは
どうでもいいはずでしょ？

なんで僕がやりたいこと
やってくれないの？



ごしゅ…
おま、お前の、
お前のことなんか…

愛しているはず
ないだろう！

は？

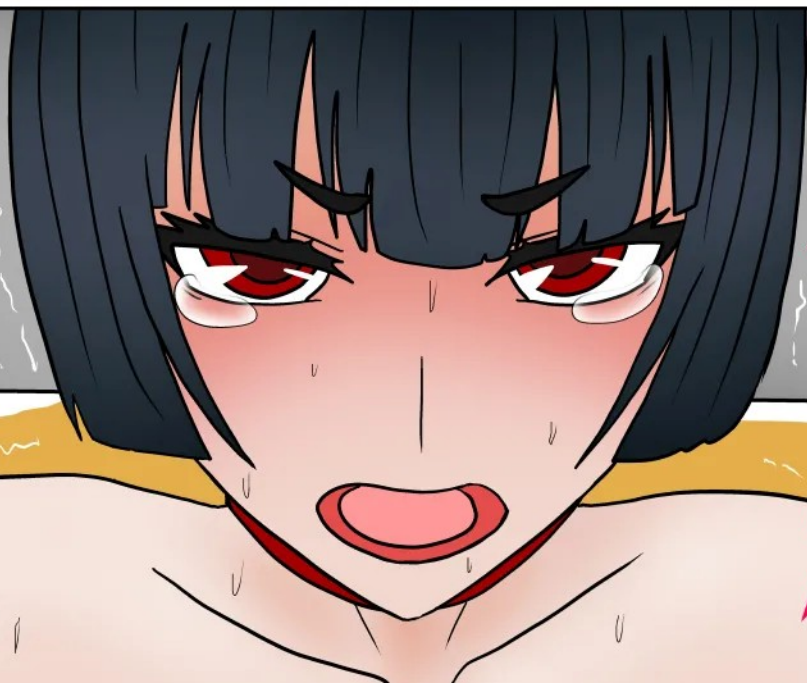
!?

なにそれ、
じゃあさっきまで
嘘ついてたってこと？

うそ…、

嘘に、
決まってるだろ！

お前のこと愛している
女なんているものか！



僕を裏切った……いや、

ずっと、

裏切ってたんだね？

う、裏切った？
変なこと言うな。

私の心が、お前のものにな
ったことなど、
一度もない！

初めて会った時から、
今の今までずーっと、

ずーっ！

吐き気がするほど
大嫌いだ！

へえ、やっぱりか。

殺すなら殺せ！

もううんざりだ！

お前にもてあそばれるくらいなら、
切り刻まれて豚の餌になる方が
100倍マシだ！

ははは、殺さないよ。
殺すわけじゃないじゃん。

悪い子を死なせて
お終いにするなんて、
そんな優しいことするわけないよ。

悪い子はね、できるだけ長く
苦しまないといけないんだ。

安心していいよ。
僕はかわいがるより、
痛めつける方がずっと
得意なんだ。

そうだなあ……

ハルナちゃんは
まだ元気いっぱいみたいだし、
とりあえず半殺しにしようかな。

半殺しってわかる？

死にそうになるくらい
痛めつけるって意味じゃないよ。

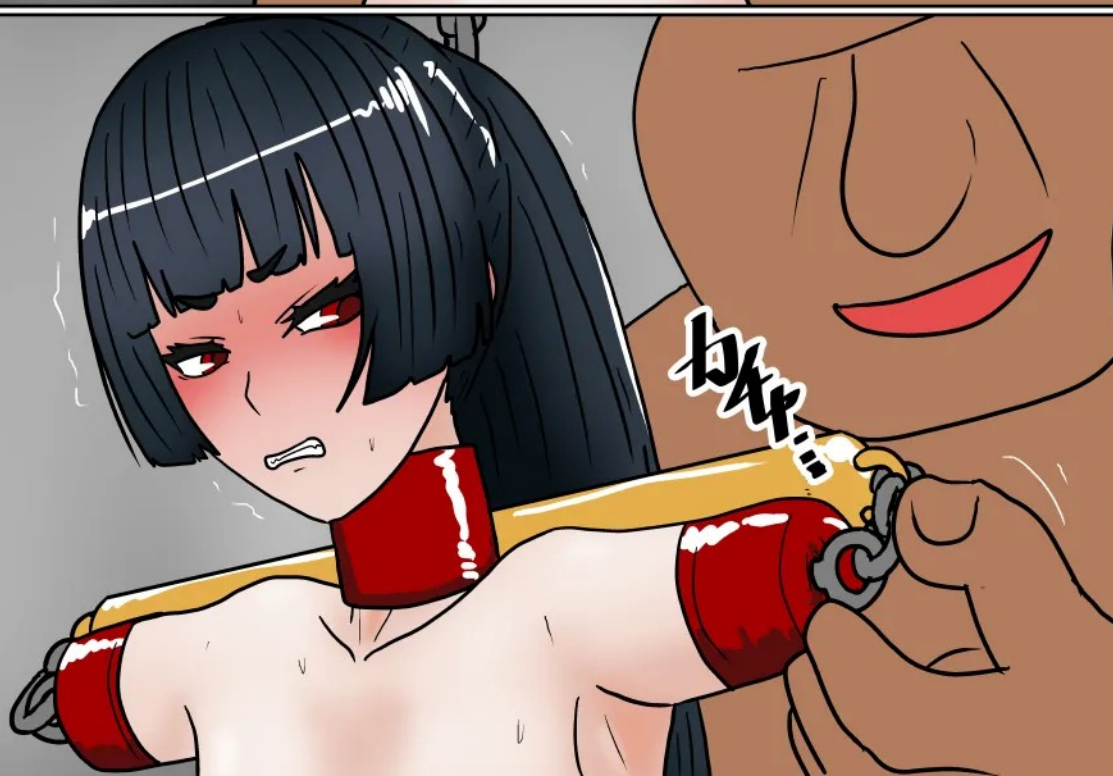
体の機能をほとんど潰して
1人で何もできない状態にするの。

ゲ
ゲ



今みたいに手足切るのなんて
ほんのさわりだからね。

わや...



とりあえず、
手足の残ってる部分も
完全に削り取るからね。

そうするともう、這いずり回ることも
体を起こすことも出来なくなるよ。



次に目や耳を潰す



耳の穴を完全に塞いで
外の音が聞こえなくなると
どうなるか知ってる？



外の音が聞こえない代わりに、

体の中の音が
聞こえ始めるんだって。



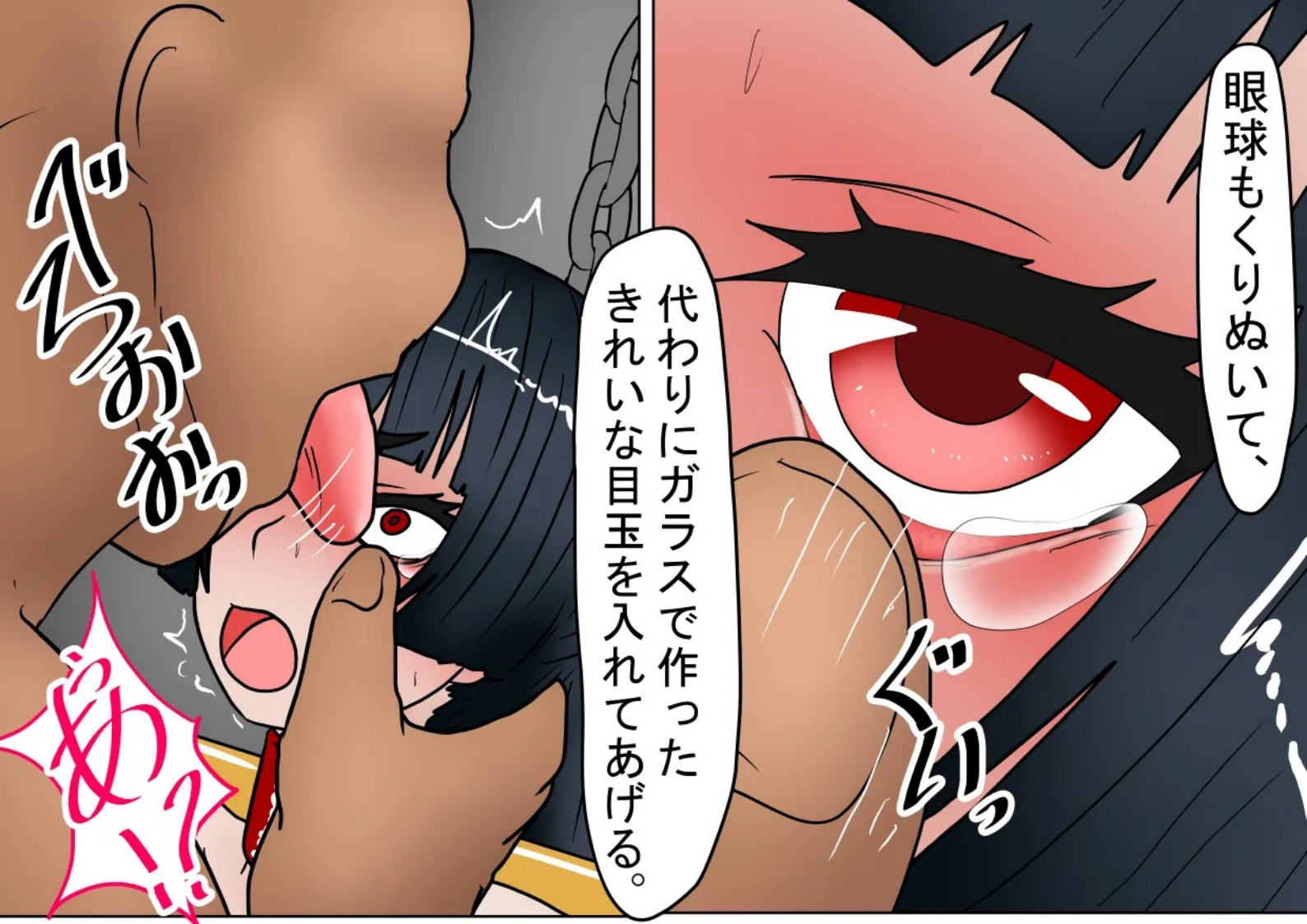
鞭で打たれたときに
皮膚や筋肉が裂ける音

くしゃくしゃ

くしゃ

鎖で吊るして
こん棒で殴ったときに
骨や関節がきしむ音

お尻やおまんこを
僕のちんちんでほじる音も、
よく聞こえるようになるよ！



眼球もくりぬいて、

代わりにガラスで作った
きれいな目玉を入れてあげる。

ぐい

ぐわわ

わっ



可愛く睨みつける赤い瞳を
見られなくなるのは残念だけど、
僕本当は青い瞳の方が好きなんだ。

へち

へち

へち

へち

わっ

ぐわ



口は開口器付きのマスクで塞いで、
フェラと食事のとき以外は
胃まで届くぶっといバイブを押し込んでおこう。



鼻から肺へは
呼吸用のチューブを通す。



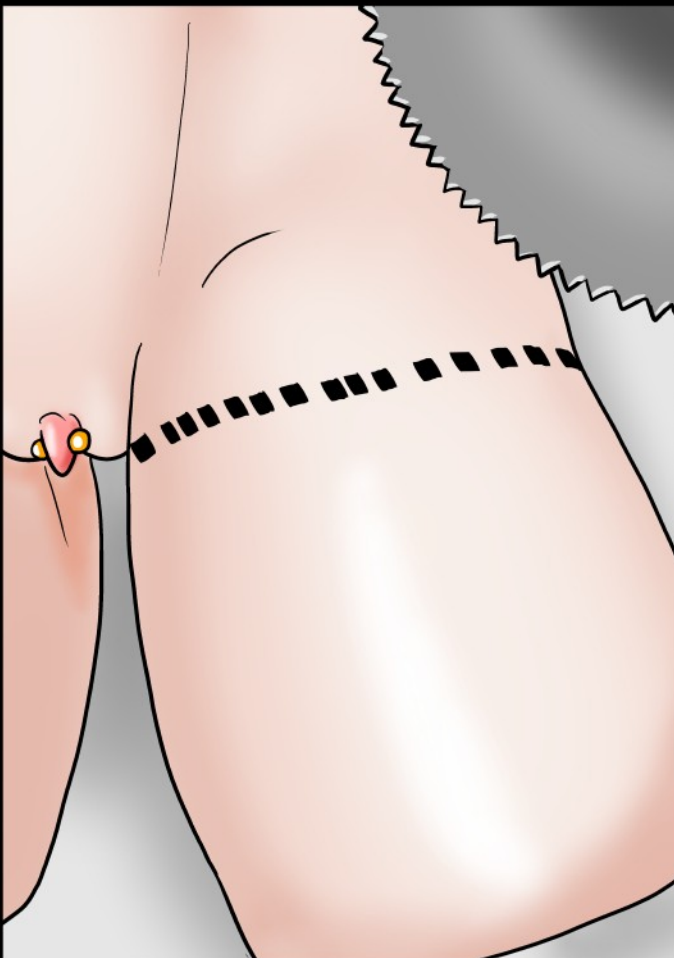
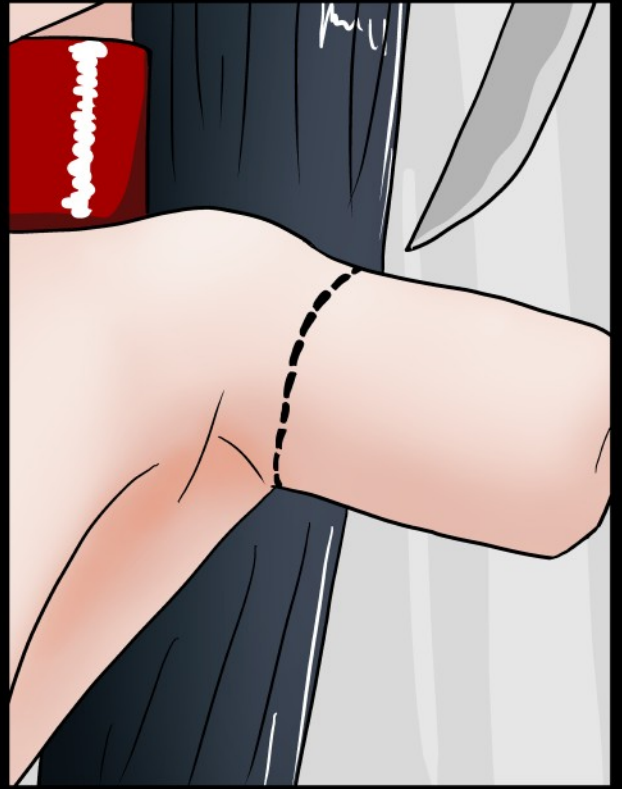
チューブはギリギリまで細い奴を使って、
常に息苦しい状態にしておく。

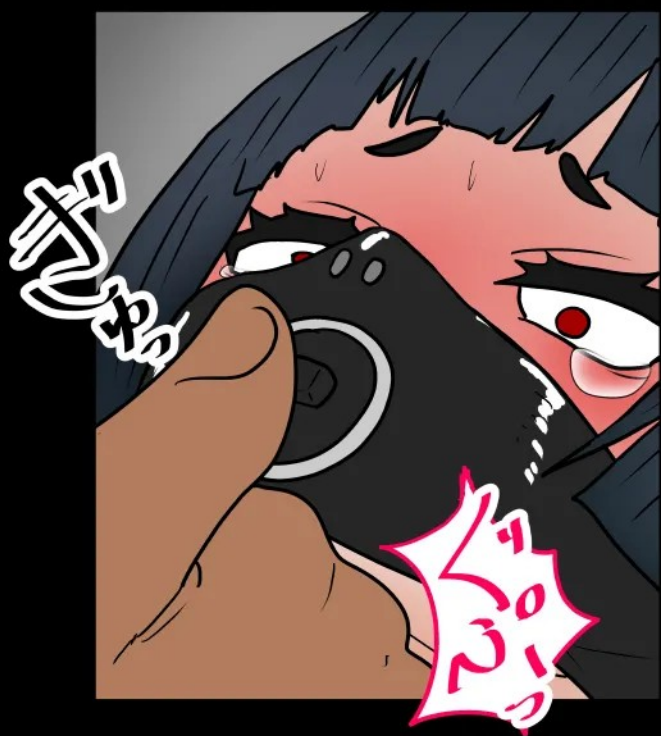


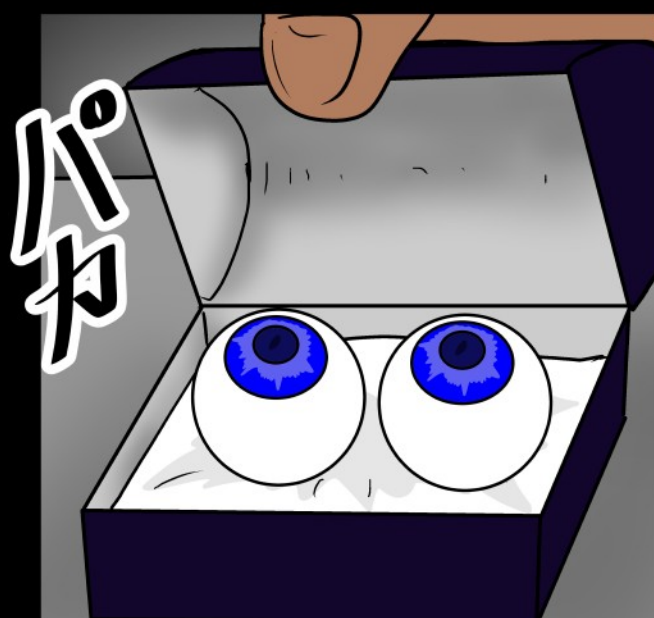
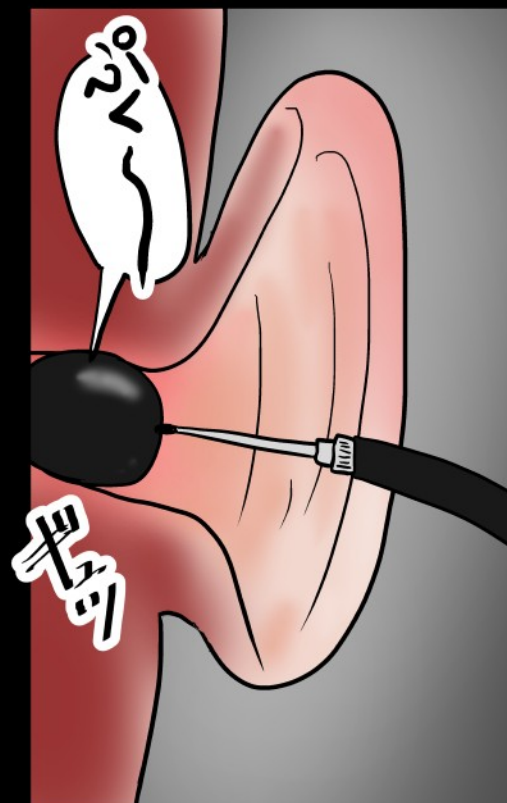
与えらる苦痛に
悶え苦しむだけ……

ただ僕のちんちんしごくだけの
肉の人形にしてあげる。









うっ

ふっ
うっ

ふっ
うっ

うっ
うっ
...





ま、いいや。

あーあ、
パパに怒られちゃった。



イライラは全部、
ハルナちゃんにぶつけられればいいんだもんね！



ちほッ

あッ

ぬほッ

ずる

ずる

ずる

いほんん

がッん!!

ん

ん

ん

ん

いほんん

いほんん

あッん?









はー

はー

はー

はぁ

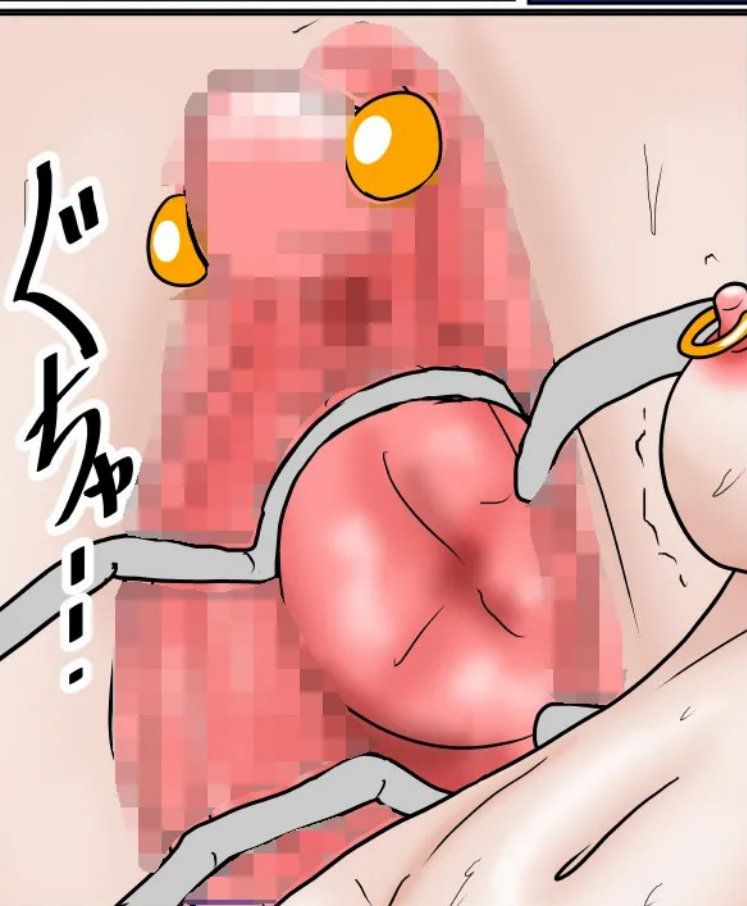
はぁ

はぁ

はぁ

ぐろろろ

ぐろろろ





ハルナちゃんの大好きな
ほじり棒で、
いっぱい掻き回して
あげるからね！

……って、
聞こえてないか！









体がしつかり反応してて
分かりやすいなあ

言葉しゃべれないのに
どこで感じるか
全部教えてくれるもんねえ

ほら、ここかな？

..!!!

[illegible]

さ、きれいにしてあげた分、
たっぷり楽しまないかね！

ざゅ

くちゅ







ぽちゅっ

おっ

おっ

ぐちゃ

ぽちゅっ

おっ

おっ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

お口のおもちや
外してあげようねえ

ずるずる

ずる

ぷるぷる

ほーら、ちゃんと呼吸して。
こんな時くらいしか自由に
息できないんだからね。





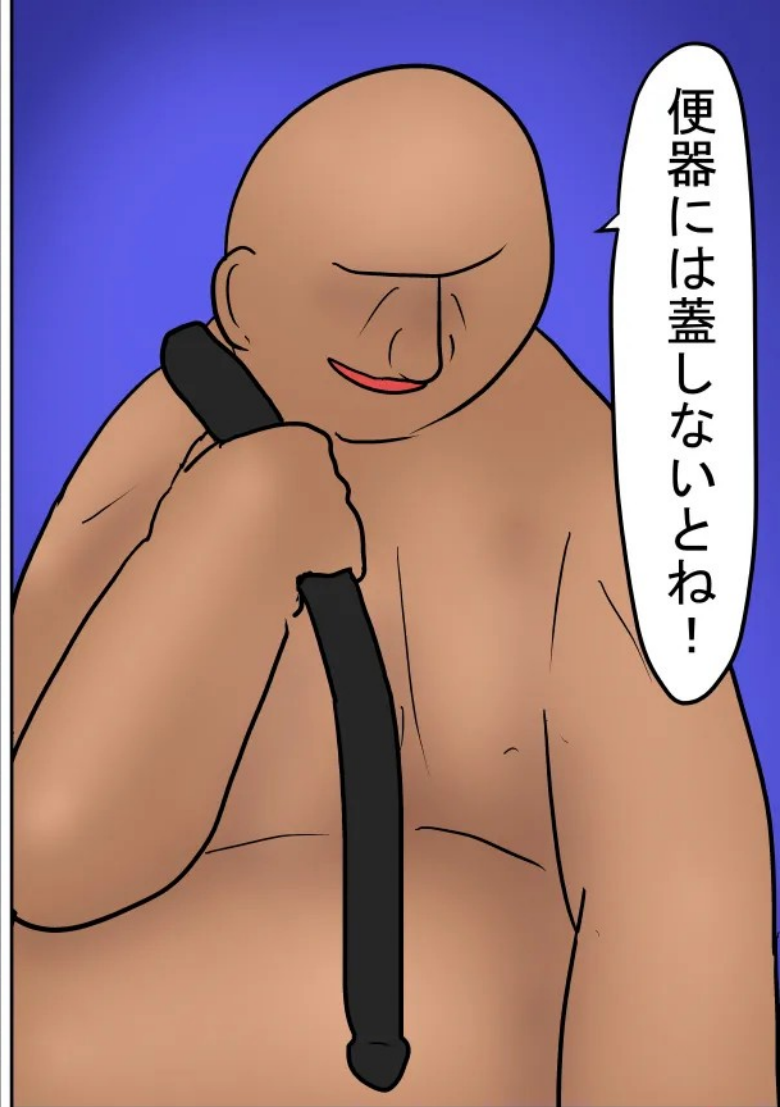












後片付けめんどくさいなあ...



メリッ

まあ、ハルナちゃん
なんも出来ないから
仕方ないけど...

ハルナ

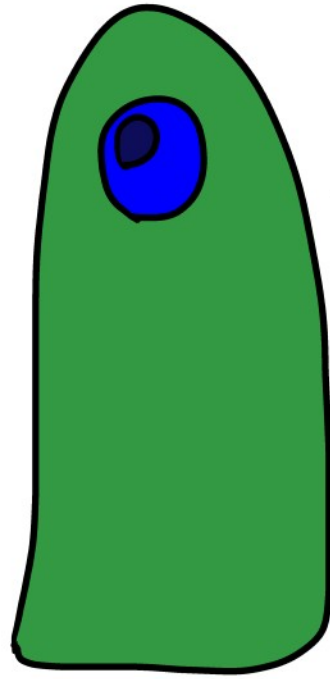


そろそろ新しい
おもちゃを買ってもらおう

終

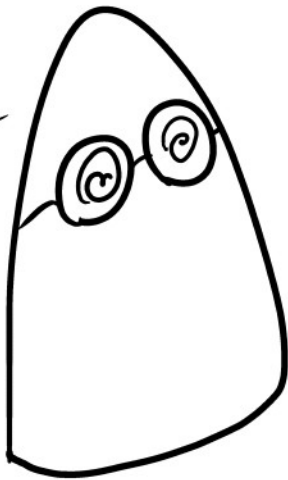
本シリーズは
これで完全に終わります!!

大あひらかなあ?
小あひらかなあ?



本シリーズのヒロインは
どんちきかなあ?

新年一花目
ドリカ。



科イ森

2025/12/6

感想お待ちします!!

その後…

ハルナ・ゲートルードは、口に流し込まれた尿が肺に入り窒息死した。観賞台に固定された状態であったため、彼女が死亡していることに気付かれたのは、死後3日たってからであった。彼女は有名な魔女であったため、死体は帝国の情報機関によって回収・検査された。

最終的に死体は帝国文化省に引き取られ、剥製に加工された。帝国戦争博物館に所蔵され、定期的な補修を行いながら「帝国と戦った卑劣な魔女」の象徴として長く展示された。



ハルナ・ゲートルード

魔族と人類が停戦に合意し、200年以上にわたる戦争が終わった後、帝国から人類側へ、彼女の遺体の返還が打診されたが、人類側からの回答は「不要」だった。

長い戦乱が続く中で、人類側での彼女の評価は

「魔族と勇敢に戦った魔女」ではなく「敵に屈した淫売女」へと書き変わっていたのだった。

彼女の剥製は今も帝国戦争博物館の片隅に展示されている。人類と魔女の「恥ずべき記憶」として…